

発行/令和元年(2019年)12月26日
長野県木曾広域連合

第62号



きそじネット

日本遺産「木曾路」PR事業を実施しました。



日本遺産ロゴ入り
マグネットシート
によるPR

王滝村淀地地区にある圏域案内サイン

木曾広域連合では、日本遺産「木曾路」をより多くの皆様に知っていただくため、長野県の地域発元気づくり支援金を活用してPR事業を実施しました。

木曾地域は、平成28年4月25日に「木曾路はすべて山の中～山を守り 山に生きる～」というストーリーで日本遺産に認定されましたが、その認知度がまだ高くなく、視覚的にPRすることで認知度を向上させようと、木曾広域連合で管理する広域公共サインに日本遺産「木曾路」のPR板を設置しました。また、木曾郡内6町村と塩尻市などの行政機関に加え、各バス・タクシー会社の協力も得て、公用車やバス・タクシーに貼る日本遺産のロゴマークが入ったマグネットシートも作成しました。

これからも、木曾の魅力をお客様へ発信し住民の皆様にも再認識していただけるよう、日本遺産「木曾路」のPRを行っていきます。

日本遺産「木曾路」のポータルサイトもあります。ぜひご覧ください。

◆日本遺産「木曾路」
ポータルサイト
<http://www.kisoji-isan.com/>



目次

木曾広域連合議会だより……………	2	消防フェア2019へのご来場ありがとうございました…	4
木曾広域ケーブルテレビ光化工事について……………	3	木曾寮 嘱託職員募集のお知らせ……………	4
紙類のリサイクルにご協力ください……………	4	文字放送はインターネットからも確認できます……………	4

木曾広域連合の最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kisoji.com/kisokoiki/>

木曾広域連合議会だより

令和元年木曾広域連合議会第4回定例会

開催日：令和元年11月29日(金)

条例の制定・改正12件、補正予算2件が原案どおり可決されました。

▼議案第20号	木曾広域連合フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について	……可決
▼議案第21号	木曾広域連合パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定について	……可決
▼議案第22号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	……可決
▼議案第23号	木曾広域連合看護師等奨学資金貸付条例の制定について	……可決
▼議案第24号	木曾広域連合下水道事業の設置等に関する条例の制定について	……可決
▼議案第25号	職員定数条例の一部改正について	……可決
▼議案第26号	木曾広域連合職員の分限に関する条例の一部改正について	……可決
▼議案第27号	木曾広域連合職員の給与に関する条例の一部改正について	……可決
▼議案第28号	木曾広域連合副管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	……可決
▼議案第29号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	……可決
▼議案第30号	木曾広域連合消防手数料条例の一部改正について	……可決
▼議案第31号	木曾広域連合火災予防条例の一部改正について	……可決
▼議案第32号	令和元年度木曾広域連合一般会計補正予算（第3号）	……可決
▼議案第33号	令和元年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算（第3号）	……可決
▼全員協議会	報告事項1件 台風19号災害に係る職員支援活動について	

行政報告（抜粋）

9月の15号、10月の19号台風により、各地に甚大な被害をもたらしました。この度の災害により尊い命が犠牲となられ、また被災されました多くの皆様方に、心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

木曾広域連合では、長野県消防相互応援協定及び市町村相互応援協定に基づいて、翌日から4日間消防職員延べ36名、18日から木曾クリーンセンター職員延べ10名、11月18日から5日間建設課職員1名を、それぞれの被災地に緊急派遣して現地の救助活動や支援活動をしてきました。

<p>地域振興課</p> <p>11月12日、木曾地域交通網対策協議会 リニア中央新幹線整備促進木曾地域期成同盟会部会主催による「リニア中央新幹線計画に関する研修会」を木曾町文化交流センターにて開催し、関係者39名が出席しました。</p> <p>JR東海中央新幹線推進本部、長野県建設部リニア推進局よりそれぞれ講義を受け、リニア中央新幹線に関する計画と課題について理解を深めました。</p>	<p>健康福祉課・介護保険事業</p> <p>介護保険の運営状況は、給付額は9月審査分までの6ヵ月間で、前年度比約0.7%（12,205千円）の微減となり、主な要因としては、第7期計画時より予防事業等の効果により介護認定率が低下したものと考えられます。</p>	<p>環境課</p> <p>10月11日、木曾地域廃棄物不法投棄防止対策協議会主催による「不法投棄防止・ポイ捨て禁止」の街頭啓発活動が展開され、道の駅大桑と日義木曾駒高原において、不法投棄撲滅の啓発を行いました。広域連合では、「木曾かめ君」車両により、郡内全域を廻り広報活動に努めてまいりました。</p>	<p>建設課</p> <p>10月2日に、「長野県南部国道連絡会」による要望活動を都内で開催し、総勢60余名の首長や関係者の出席をいただき、国土省赤羽大臣・青木副大臣との面談、その後、地元選出の国会議員と意見交換を行い、道路整備の促進や未整備区間の早期事業化に向けて強く要望してまいりました。</p>
<p>情報センター</p> <p>11月20日に、木曾郡町村会及び町村議会議長会合同による要望活動として、地元選出の国会議員及び総務省を訪庁して、光化事業の補助金増額配分と今後の継続事業の要望にむけて、情報流通行政局長と懇談してまいりました。</p>	<p>木曾寮</p> <p>木曾寮施設に伴う建設検討委員会を11月までに4回開催し、また、開設後の施設運営のあり方として外部委託方式の選択肢も視野に入れて、現在、地元福祉団体と懇談する機会を設けております。</p>	<p>木曾文化公園</p> <p>9月から11月にかけて、「吹奏楽フェスティバル」、「スタインウェイを弾こう・ピアノ演奏会」、「木曾文化協会合同発表会」、「木曾ダンスフェスタ」等、多くの催しが開催され、木曾郡内外で活動されている皆様の演奏、舞踊などが披露され、芸術活動の発表、交流の場としてご利用いただきました。</p>	<p>消防本部</p> <p>平成31年1月から令和元年10月までの火災出動は17件（昨年比1件増）で、内訳は建物6件（同1件減）、林野3件（同2件増）、車両1件（同）、その他7件（同）。救急出動は1,291件（昨年比95件減）となっています。</p>

一般質問の概要



「豪雨災害に対する今後の対応は」 質問：山本 勝己 議員 答弁：事務局長・建設課長

問：今年の台風19号の豪雨により長野県で千曲川、浅川の氾濫が発生した。氾濫の原因として、川底が埋まり河床が浅くなっていることが問題視されている。木曾川河床の掘り下げも必要と考えるが、広域連合としてどのように要請していくのか。

答：原則的には各町村が具体的な要望を河川管理者へ要請していくものと考えている。

問：現状の広域連合組織の中には、大規模災害に向けて取り組む部署がないことから、今後どのようにしていくか。

答：現段階で木曾地域に、防災・減災に関する組織や協議会があるため、そちらで見解をいただきながら県に要望していく対応を図っていく。また、県下に市町村が加入している治水・河川協議会等の組織があり、関係省庁への陳情を行っている。既にある組織で進めていきたいと考えている。

「医師の緊急要請について」 質問：山本 勝己 議員 答弁：健康福祉課長

問：台風19号の影響により、国道361号が通行止めになっている。復旧までの間、期間限定の医師を派遣していただけるよう、町村会並びに広域連合から要請をお願いしたい。

答：11月21日に開催された、第2回権兵衛峠道路災害復旧技術検討委員会にて、国土交通省より年内に仮橋を設け片側通行を目指す方針が発表された。また、10月28日に長野県から国道361号通行止めに伴い、木曾からの救急搬送について中信地区6病院に受け入れ要請がなされた。

期間限定の医師の派遣については、医師が派遣されたとしても、それに対応する心臓カテーテル治療等の専門治療機器が無く、他の病院へ転送することもあり得る。治療機器は高額のため、予算等の検討が必要であり、すぐに導入することは難しいとのこと。平成29年度から木曾郡町村会において長野県、県立病院機構へ常勤医師の配置を求める陳情を行っている。今後も陳情を続け木曾病院の充実を図っていきたい。



「大雨時の木曾川上流大型ダムの事前放流について」 質問：早川 親利 議員 答弁：連合長・総務課長

問：大雨時に各ダムの放流通知の有無、また、各町村への周知の方法は。

答：台風19号において、味噌川ダムは管理水位の上限値を超えたため、通知をして放流基準値内で放流した。牧尾ダム・関西電力は放流はなかった。

町村への周知は、河川法等に基づき影響のある下流域の自治体や関係機関にFAXにより事前に通知している。更に牧尾ダムは独自の取り組みとして通知よりも先に電話で木曾建設事務所や各町村へ連絡しているとのこと。

問：事前放流を行っているか。

答：味噌川ダムは洪水調整機能を有するため、通常業務の範囲内で流量調整をしている。その他のダムでも管理水位を超えることが予想される場合には、管理規定に基づき対応することになっている。

問：事前放流の要望を行う考えはあるか。

答：治水・河川協議会等でも話が出ており、国への要望として挙がっている。洪水に備えた調整機能を全てのダムで行っていただくよう声を上げ続けていきたいと思っている。(連合長回答)

令和元年度補正予算（第3号）の概要

会計別補正予算総括表

	補正前の額	補正額	計
一般会計	41億2,282万円	264万5千円	41億2,546万5千円
介護特別会計	44億1,906万7千円	0	44億1,906万7千円
合計	85億4,188万7千円	264万5千円	85億4,453万2千円

※介護保険特別会計は科目間の組み替えのため事業費の補正がありませんでした。

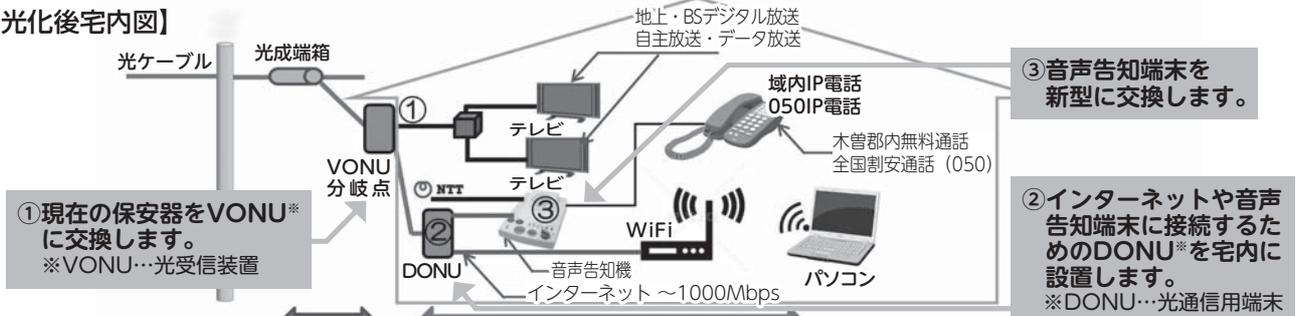
一般会計

歳入	補正額	歳出	補正額	主な補正内容
分担金及び負担金	430万3千円	議会費	△14万円	土木事業費 870万9千円
繰入金	△49万1千円	総務費	△71万5千円	
諸収入	13万3千円	民生費	110万8千円	人件費補正 364万2千円
広域連合債	△130万円	衛生費	△1,044万9千円	
歳入補正額計	264万5千円	土木費	851万8千円	消防一般経費 165万6千円
		消防費	492万7千円	
		教育費	10万7千円	
		予備費	△71万1千円	
		歳出補正額計	264万5千円	

木曾広域ケーブルテレビ光化工事について

現在、皆様にご利用いただいている木曾広域ケーブルテレビの全線光化（FTTH化）工事を行っています。これは、現状の同軸ケーブルを光ファイバーケーブルに交換し、テレビやインターネットをより利便性の高いサービスとするための工事です。

【光化後宅内図】



ご注意ください

①、②、③を交換設置します。費用負担なし

※模式的に図面にしています。

光化工事は指定業者のみで行います。広域連合の光化工事でNTTから工事の連絡がくることはありませんのでご注意ください。

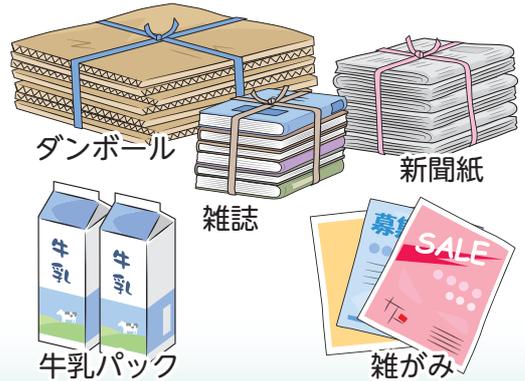
お問い合わせ先 木曾広域情報センター 電話 21-2212

紙類のリサイクルにご協力ください

木曾クリーンセンターでは「ごみの減量」を目的として、リサイクルの推進をお願いしています。木曾地域でリサイクル品の分別回収が本格的に始まって15年以上が過ぎました。さまざまな物が分別回収されるようになり、以前は「捨てられていた資源」が循環し始めています。その中でも紙類は正しく分別されないと「再資源」としてリサイクルできません。

「紙類のリサイクル」についてのご不明な点は、木曾クリーンセンターまたは、お住まいの各町村役場へご確認をお願いします。

お問い合わせ先 木曾クリーンセンター 電話 24-3131



消防フェア2019へのご来場ありがとうございました!



放水体験

10月6日(日)木曾広域消防本部駐車場において、消防フェア2019を開催しました。当日は、好天に恵まれ、241名の方に来場していただきました。今年度は、長野県地域発 元気づくり支援金を活用して、ミニ消防車の製作、緊急通報訓練装置やトリアージ TENT を整備して、地域住民の皆様防災について学んでいただきました。



大桑村消防団ラッパ隊



地震体験車



ミニ消防車試乗



緊急通報訓練装置

お問い合わせ先 木曾広域消防本部 電話 24-3119

老人ホーム木曾寮 嘱託職員募集のお知らせ

老人ホーム木曾寮では、嘱託職員（支援員・作業員）を募集しています。詳しくは、木曾寮までお問い合わせください。

お問い合わせ先 老人ホーム木曾寮 電話 52-2054

広域連合からの文字放送はインターネットからも確認できます

広域連合からののお知らせのほか、国や県等の機関からののお知らせも掲載しています。ぜひご覧ください。



【木曾暮らしの情報掲示板の特徴】

- お知らせごと、文字放送画面を見ることができます。
- 情報を素早く検索できます。
- 過去3か月分のお知らせを検索できます。

URL : <http://gov.kiso.ne.jp/index.aspx?gov=kouiki>



こちらからも ▲ アクセスできます